

わらしなだより

第6号

薬科生涯学習センターでは、11月24日に「てくてくマップ活用講座 葵トラベラー大川編『大川収穫祭&てくてく地域散策』（葵区役所地域総務課共催）」を開催し、大川地区の史跡を巡りました。

仏像が16体も！ 坂ノ上薬師堂

坂ノ上薬師堂は、奈良に都があった720年〜750年頃、坂上氏という豪族が、村人の安全加護を願って建てたのが始まりと伝えられています。坂ノ上薬師堂には、薬師如来像と15体の仏像が安置されており、薬師如来像は平安時代の12世紀に作られたヒノキ造り、他の仏像は9体が力ヤの木、7体がヒノキ造りで、いずれも10世紀に作られました。また、仏像だけではなく神像もあり、神仏習合や、山岳信仰など、多様な信仰が展開していたことがうかがえます。さらに、薬師如来像は一本の木から作られる一本造りで、これは当時の中央（京都や奈良）で造られていた仏像に通じる作風のため、その頃に中央との関係があったことを物語っています。薬師堂は、安政元年（1854年）、失火により火災に遭いますが、仏像は運び出され焼失は免れました。その後、昭和になって薬師堂の復興の機運が高まり、昭和4年（1929年）に現在の薬師堂が完成し、有志の方々によって保存されていた仏像などが収納され、現在に至っています。

（静岡県の有形文化財に！）

平成15年2月21日に薬師如来像を除く仏像15体が静岡市の文化財に指定され、平成29年12月8日には、16体全てが静岡県の文化財に指定されました。指定に向けた事前調査の中で、仏像の材質等が判明しました。

（め）の神様 薬師如来

薬師如来は「目の薬師」と呼ばれ、年齢の数だけ「め」を書いた紙を奉納すると、眼病に霊験があると信仰されています。講座参加者の皆様は「め」を書いた紙を奉納したり、仏像をじっくり眺めたりしていました。坂ノ上薬師堂へ続く少し急な階段を登りきると、自然に囲まれた薬師堂から遠くを見渡すことができます。仏像もこのようにして、大川地区を見渡しているのかもしれないですね。



静岡県指定無形民俗文化財 日向の七草祭

七草祭は大川地区日向にある福田寺観音堂で行われている田遊び系の祭りです。田遊びとは、年の始めにその年の豊作を祈願して田作りから刈り入れまでの稲作過程を模擬的に演じてみせる神事芸能をいいます。

七草祭は午前中に行われる日の出の祈禱と、田遊びが行われる夜祭りとで構成されています。準備では、境内の掃除や観音堂の飾りつけ、舞台の設営などを行い、前夜祭では飲食を兼ねた練習を行い祭りに備えます。

子どもたちが活躍する「駒んず」

七草祭の中で特徴的な「駒んず」は、養蚕の繁栄を願う演目です。数人が笹竹を持って輪をつくり、ゆすっている笹竹の中を馬の面をかぶった子どもが入り、出ていきます。そして、馬と入れ替わりに山鳥役の子どもが入り、出ていきます。馬は養蚕の神と結びつく信仰にちなんだもので、山鳥はその尾羽を蚕の掃き立ての際に使用することなどから登場すると考えられます。養蚕の繁栄を祈り演じられるのは、全国的に珍しいことです。

福田寺観音堂

以前、福田寺観音堂で結婚式を行った方がいらったそうです。地元の人ではないということと、どのような理由で会場に選ばれたのかは不明ですが、厳かな雰囲気をもった福田寺観音堂でしかできない特別な式になったのではないのでしょうか。寛永21年（1644年）に記された詞章本も残されているという歴史の古い七草祭と共に、福田寺観音堂には日々歴史が刻まれていきます。



静岡にお茶を伝えた聖一国師の生家

聖一国師は大川地区栃沢の米沢家に生まれ、1235年、宋に渡り禅宗の修行に励み、帰国後は京都に東福寺を創建しました。聖一国師が帰国後、故郷の栃沢に立ち寄った時、中国から持ち帰ったお茶の実を足久保にまいたことから、静岡で茶の栽培が始まったと伝えられています。現在、聖一国師が生まれたとされる場所には石碑がたっています。また、聖一国師の生家の米沢家には枝垂桜があります。高さ約20メートルで、3月下旬には鮮やかな濃いピンク色の色の花を咲かせます。てくてくマップ活用講座で訪れたのは11月下旬だったため、花は咲いていなかったのですが、高さ20メートルともなると大きさだけで圧巻です。是非3月下旬頃を目安に行ってみてください！

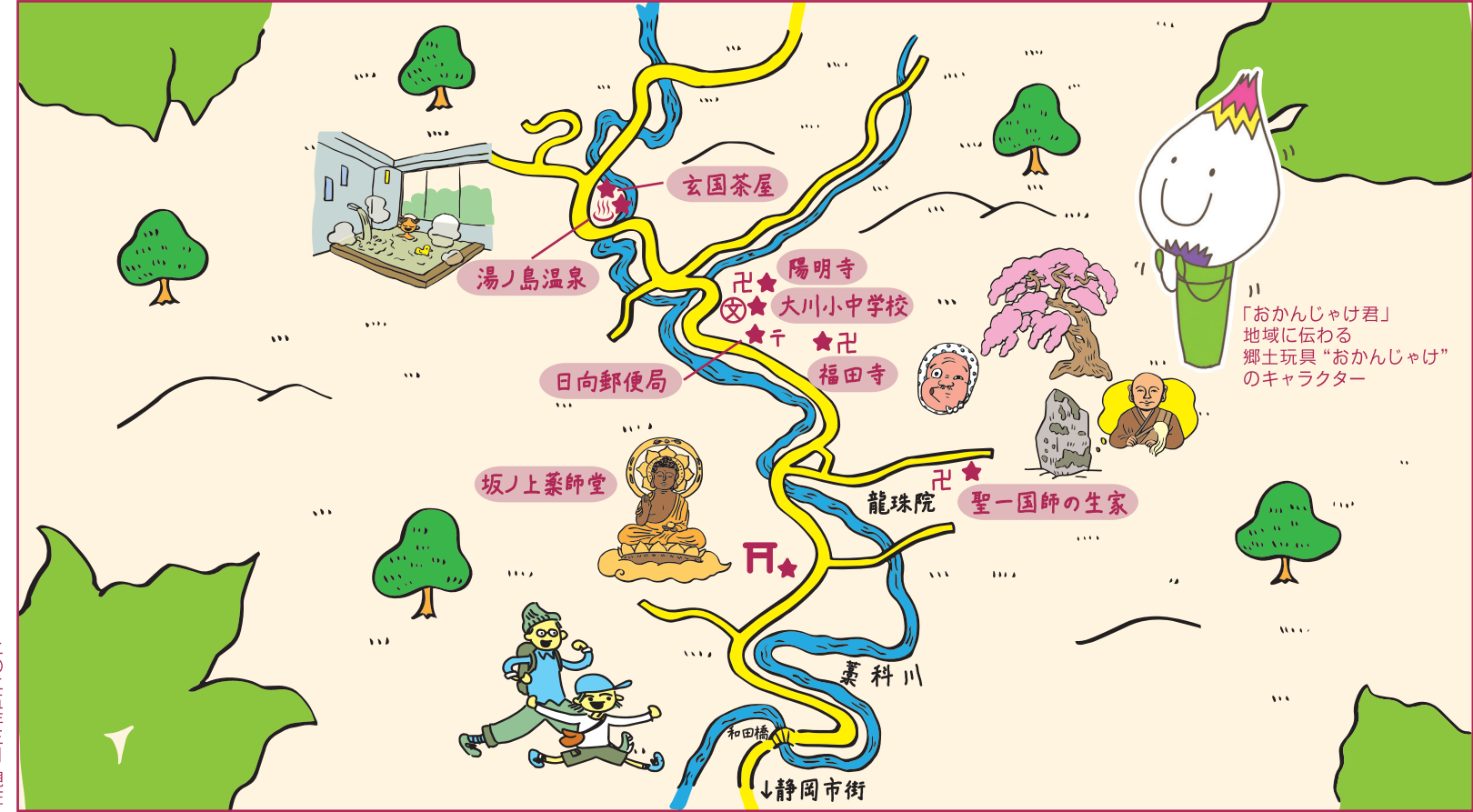


◎手打ち蕎麦が食べられる玄国茶屋◎

湯ノ島温泉浴場に併設されているお食事処、「玄国茶屋」では、手打ちの蕎麦を食べることができます。大川地区では、鎌倉時代から蕎麦が栽培されていたと伝えられており、蕎麦が有名です。玄国茶屋では、蕎麦と出汁にこだわった山菜そばや、旬のお野菜を使った天ぷらそば、さらに静岡おでん、手作りの魔除餅、三色饅頭、味噌、餅ごぼうなどの販売もしています。湯ノ島温泉で温まった後、美味しい手打ち蕎麦を食べて大川地区を満喫しましょう！



玄国茶屋
静岡市葵区湯ノ島302-1 ☎054-291-2821
【営業時間】9:30～16:00
【休館日】木曜日（祝日の場合は翌日）



薬科生涯学習センターでは、令和6年11月24日（日）に「てくてくマップ活用講座 葵トラベラー大川編『大川収穫祭&てくてく地域散策』」を開催しました。葵区役所地域総務課の皆様、大川地区自治会連合会の皆様の協力の元、大川地区の歴史や自然を感じながら、観光スポットを巡りました。今回は初めて、薬科生涯学習センター主催講座「わらしな地域探訪サポーター養成講座」の受講生の方も参加しました。この講座は、薬科の歴史について学び、薬科生涯学習センターとともに情報収集・発信をサポートする人材を養成することを目的に実施しています。受講生の方々は講座で学んだことを生かし、てくてくマップ活用講座の参加者と歴史についての会話を楽しんでいます。

「わらしなだより」第6号をお届けします。

please try it !

大川クイズ

今年度、薬科生涯学習センターでは、センターと共に薬科地域の情報、魅力などの発信をお手伝いいただける方を募集し、「わらしな地域探訪サポーター養成講座」という事業を、実施しました。

講座ではまず受講生の皆さんに薬科地域全体と大川の歴史について学んでいただき、さらに今年は「大川地区」にスポットを当てて、「大川地区」に関する豆知識を紹介するクイズを考えていただきました。ぜひクイズに挑戦し、薬科と大川について知っていただけたら幸いです！

Q1 今もある住所として、使われているのはどれでしょうか？

- ①薬科
- ②大川
- ③清沢
- ④日向

Q2 「しずてつ」こと「静岡鉄道」が本格的に輸送を開始した時の名前はどれでしょうか？

- ①駿遠電気
- ②大日本軌道
- ③遠州鉄道
- ④岳南鉄道

Q3 薬科川流域には、清沢や大川などに発電所が建てられていますが、これらの発電所の電気は、何を目的として使われていたのでしょうか？

- ①地元の電灯用
- ②静岡市街の電灯用
- ③電車の動力用
- ④地元の産業用

Q4 湯ノ島温泉の隣にある「玄国茶屋」ですが、その名前の由来は何でしょう？

- ①和尚さんの名前
- ②武将(侍)の名前
- ③土地の名前
- ④建物の名前



・地元の物が集まる日！
大川収穫祭・農協ふるさと祭り
11月の第4日曜日には、その年の収穫物に感謝し、地域の活性化と市街地との交流を目的として「大川収穫祭・農協ふるさと祭り」が開催されます。今年は11月24日(日)に開催しました。地元の野菜や蕎麦、手作りの料理の販売、特設ステージでの和太鼓の演奏など、盛りだくさんでした。和太鼓を披露したのは、薬科生涯学習センターで活動している「わらしな太鼓 倭鼓舞琉」さんです。素晴らしい演奏でお祭りを盛り上げていました！



わらしな地域探訪に参加して

わらしな地域探訪サポーター養成講座受講生 和田博史

昨年11月「わらしな地域探訪サポーター養成講座・大川編」に参加しました。新聞の中勤助文学記念館に勤めていながら、薬科地域について知らないことが多いので、薬科生涯学習センターの講座・催し物に参加して理解を深めようとしてきました。今回の養成講座第1回・第2回では、郷土史家の曽根辰雄先生から大川地区の歴史と人々の生活などについて詳しく講義を受けました。坂ノ上の平安仏、聖一国師の教え、日向の木魂信仰など中近世の信仰・精神面の変遷はとても興味深いテーマです。また、近現代の交通と郵政の発展について、静岡電鉄・大井発電所などのことを初めて知りました。さらにそれぞれの講義内容をもとに簡単なクイズを作成して楽しみました。

第3回の「大川収穫祭&てくてく地域散策」というフィールドワークも小春日和のもと楽しく回りました。収穫祭会場の大川小中学校には多くの美味しい地元産品(新鮮野菜、蕎麦など)が並び、売っている人や育てた方とも触れ合っことが出来ました。

「てくてく地域散策」の中で印象的だったのは、日向の古刹・陽明寺の忠魂碑の前での曽根先生のお話でした。彫られた年号から第一次世界大戦の碑で、人々の鎮魂の想いと平和への希求が伝わってきます。しかし第二次大戦は起こり、また多くの人命が失われました。戦後80年平和の時期を過ごしていますが、今が第3次大戦との「戦間」かもしれないのです。ただの建造物として眺めるのではなく、その由来・込められた願いに思いを馳せると厳肅な気持ちになりました。

静岡市薬科生涯学習センター

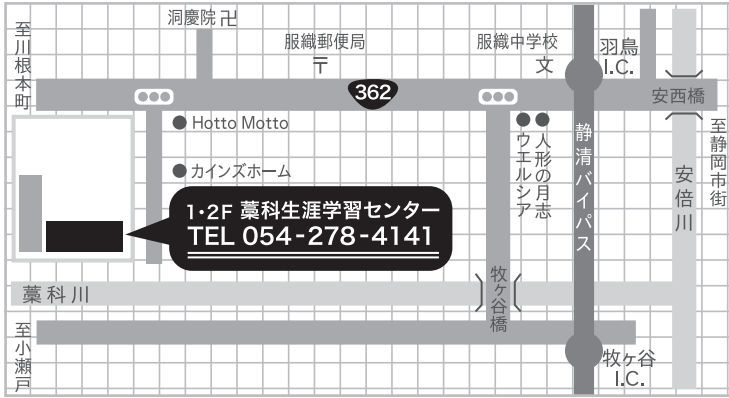
指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団



住所 〒421-1217 静岡市葵区羽鳥本町5-9
TEL 054-278-4141
FAX 054-277-2127
URL <https://sgc.shizuokacity.jp/>
開館時間 9:00-21:30
休館日 月曜日・祝日・年末年始

交通機関のご案内

バス JR 静岡駅北口 3 番のりば・新静岡バスターミナル 2 番のりば
しずてつバス薬科線『薬科学習センター』バス停下車(所要時間約30分)
静岡駅方面から 安西通りから国道 362 号線に入り、羽鳥本町まで進む。
左側の茶色い建物、カインズホームが目印。



※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

編集後記

「てくてくマップ活用講座」として毎年行っている本講座は、昨年度同様、葵区役所地域総務課との共催で行いました。徒歩移動が大変な場所も、バスを利用してスムーズに移動することができました。大川地区自治会連合会の皆様には講師として、大川地区の魅力を講座参加者の皆様にお伝えいただきました。また、薬科生涯学習センター主催講座「わらしな地域探訪サポーター養成講座」の受講生の皆様には、事前に大川地区について学んだうえで、本講座にも参加していただきました。地域のサポーターとして、これからも魅力を発信し続けてください! ご協力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました!



ご協力いただいた団体等

- ・大川地区自治会連合会
- ・葵区役所地域総務課
- ・湯ノ島温泉浴場
- ・玄国茶屋
- ・曽根辰雄
- ・わらしな地域探訪サポーター養成講座受講生

(敬称略、順不同)

Answer

大川クイズ
の答え

Q1 ④日向

他はかつて村の名前でありましたが、今は町名としては残っていません。現在はその一帯を表す地域名となっており、小学校や中学校の名前になっています。

Q2 ②大日本軌道

大日本軌道静岡支社から、駿遠電気に変わり、1923 年に静岡鉄道に改称されました。旧静岡市から清水港へ、輸出するお茶を運ぶために路線が引かれました。

Q3 ③電車の動力用

かつては、蒸気機関のSLが使われていましたが、鉄道の電化、複線化のために電気が必要となったため発電所が建設され、輸送力が強化されました。その際に余った電気を使用し、地元地域の電灯が灯されました。

Q4 ①和尚さんの名前

江戸時代に、湯ノ島の人々に親しまれ尊敬された「玄国和尚」にあやかって名付けられました。「即身仏(僧侶のミイラ)」となったという説もありますが、その真偽は不明です。